

橋下徹大阪市長殿

「従軍慰安婦」正当化・米軍兵士の「沖縄風俗業」利用促進要求の謝罪と市長辞任要求

橋下徹大阪市長、あなたは5月13日の記者会見で、「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で、命をかけて走っていくときに、どこかで休息をさせてあげようと思ったら慰安婦制度が必要なことは誰だって分かる」と発言しました。また同日夕方の記者会見では「従軍慰安婦制度じゃなくても風俗業は必要だと思う。沖縄の普天間に行ったときに、司令官にもっと風俗業を活用してほしいと言った」と発言しました。

この、戦前の日本政府と日本軍が関与した「従軍慰安婦」制度を正当化し、沖縄での性犯罪の多発を憂慮した米軍当局が、夜11時以降の外出と飲酒禁止令の最低の処置にさえ注文をつける発言に中国、韓国、フィリピンなどアジア太平洋戦争で甚大な被害を被った諸国と、今でも米軍兵士・軍属の犯罪被害を受け続けている沖縄から厳しい批判と怒りの声がわき起こっています。韓国では今も毎週水曜日に、かつて「従軍慰安婦」になることを強制された女性たちを中心に日本大使館前での集会が続けられています。沖縄では、米軍当局が兵士の夜間外出と禁酒令緩和を画策していることに反対の声が上がっています。

わたしたちは、これら「従軍慰安婦」などをめぐるあなたの一連の発言は「憲法9条を諸悪の根源」と敵視するあなたの政治姿勢と一体で、日本を再び戦争する国に造りかえ、それに伴って女性たちへの究極の差別である「性奴隷制度」の復活さえめざすものと考え心底からの怒りを込めて抗議します。

わたしたちは、あなたが真実の謝罪を行うことを要求します。

あなたは13日の記者会見以来、得意な開き直りと言いつ事を繰り返していますが、それらはますますあなたの差別性、好戦性を明らかにするばかりです。あなたがなすべきことは、「従軍慰安婦」にされた人々、韓国、朝鮮、中国、フィリピンなどアジア太平洋戦争で被害にあった人々と国々、今でも米軍の性犯罪の犠牲に苦しむ沖縄の人々、そしてあなたの発言で傷つけられた全世界の女性たちに対する心底からの謝罪です。その最低の前提は市長を辞任することです。あなたの謝罪は市長の辞任からしか始められません。

2013年5月17日

しないさせない戦争協力関西ネットワーク共同代表 増田 京子
中北龍太郎
垣沼 陽輔